

## 耕畜連携助成における利用供給協定書 (例・わら利用)

### (目的)

第1条 この利用供給協定書は、甲と乙が連携して、水田で生産されたわら専用稲(飼料用米)の稲わらを収集し、家畜に給与することで、水田における飼料生産の拡大を推進し、水田の有効活用と飼料自給率の向上を図ることを目的とする。

### (実施の主体)

第2条 甲は、耕畜連携助成の実施者として、水田においてわら専用稲(飼料用米)を作付けする者とする。

2 乙は、甲が生産した稲わらを利用する者とする。

### (水田の場所等)

第3条 甲がわら専用稲(飼料用米)を作付けする水田および刈取り時期は別紙のとおりとする。

### (協定締結期間)

第4条 この協定の有効期間は、締結日から3年間とする。ただし、期間満了の2ヵ月前までに甲・乙いずれからも文書による別段の意思表示がないときは、さらに3年間延長するものとする。

### (役務と対価)

第5条 甲は、稲わらを収集し、乙に供給するものとする。

2 乙は、稲わらの代金および収集料として、甲に10a当たり 円を支払うものとする。

第5条 甲は、稲わらをほ場において、乙に引き渡すものとする。

2 乙は、稲わらを収集し、稲わら代金として、そのほ場に堆肥を散布するものとする。

どちらか  
選択

### (協定の補完)

第6条 この協定に定めのない事項については、その都度甲・乙が協議の上決定する。

以上、協定締結の証として、本協定書2通を作成し、それぞれ1通ずつ保管することとする。

令和 年 月 日

甲(わら専用稲(飼料用米)を生産する者)

住 所

氏 名

印

乙(稲わらを利用する者)

住 所

氏 名

印

## 耕畜連携助成における利用供給協定書 (例・資源循環①)

### (目的)

第1条 この利用供給協定書は、甲と乙が連携して、水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を粗飼料作物等を作付けた水田に施用することにより、地域資源の有効活用を図るとともに、水田における飼料生産の拡大を推進し、水田の有効活用と飼料自給率の向上を図ることを目的とする。

### (実施の主体)

第2条 甲は、耕畜連携助成の実施者として、水田において粗飼料作物等を作付けし、乙に供給し、堆肥の散布を受ける者とする。  
2 乙は、甲から水田で生産された粗飼料作物等の供給を受け、自らの家畜に給与し、家畜の排せつ物から生産された堆肥を粗飼料作物等が作付けされた水田に散布する者とする。

### (水田の場所等)

第3条 甲が粗飼料作物等を作付けする水田および粗飼料作物等の種類は別紙のとおりとする。  
2 乙が堆肥を散布する時期および量は別紙のとおりとする。

### (協定締結期間)

第4条 この協定の有効期間は、締結日から3年間とする。ただし、期間満了の2ヵ月前までに甲・乙いずれからも文書による別段の意思表示がないときは、さらに3年間延長するものとする。

### (役務と対価)

第5条 甲は、散布された堆肥の代金および散布料として、乙に10a当たり 円を支払うものとする。

第5条 甲は、粗飼料作物をほ場において、乙に引き渡すものとする。  
乙は、粗飼料作物を収穫し、粗飼料作物代金として、そのほ場に堆肥を散布するものとする。

どちらか  
選択

### (協定の補完)

第6条 この協定に定めのない事項については、その都度甲・乙が協議の上決定する。

以上、協定締結の証として、本協定書2通を作成し、それぞれ1通ずつ保管することとする。

令和 年 月 日

甲（粗飼料作物等を生産する者）

住 所

氏 名

印

乙（堆肥を散布する者）

住 所

氏 名

印

## 耕畜連携助成における利用供給協定書 (例・資源循環②)

### (目的)

第1条 この利用供給協定書は、甲・乙・丙が連携して、水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を粗飼料作物等を作付けた水田に施用することにより、地域資源の有効活用を図るとともに、水田における飼料生産の拡大を推進し、水田の有効活用と飼料自給率の向上を図ることを目的とする。

### (実施の主体)

第2条 甲は、耕畜連携助成の実施者として、水田において粗飼料作物等を作付けし、乙に供給し、堆肥の散布を受ける者とする。

2 乙は、甲から水田で生産された粗飼料作物等の供給を受け、自らの家畜に給与し、家畜の排せつ物から堆肥を生産する者とする。

3 丙は、乙から堆肥散布作業を受託し、堆肥を散布する者とする。

### (水田の場所等)

第3条 甲が粗飼料作物等を作付けする水田および粗飼料作物等の種類は別紙のとおりとする。

2 丙が堆肥を散布する時期および量は別紙のとおりとする。

### (協定締結期間)

第4条 この協定の有効期間は、締結日から3年間とする。ただし、期間満了の2ヵ月前までに甲・乙・丙いずれからも文書による別段の意思表示がないときは、さらに3年間延長するものとする。

### (役務と対価)

第5条 甲は、散布された堆肥の代金および散布料として、乙に10a当たり 円を支払うものとする。

2 乙は、堆肥の散布料として、丙に10a当たり 円を支払うものとする。

### (協定の補完)

第6条 この協定に定めのない事項については、甲と乙、乙と丙および甲・乙・丙がその都度協議の上決定する。

以上、協定締結の証として、本協定書3通を作成し、それぞれ1通ずつ保管することとする。

令和 年 月 日

甲（粗飼料作物等を生産する者）

住 所

氏 名

印

乙（粗飼料作物等を給与し、堆肥を生産する者）

住 所

氏 名

印

丙（堆肥を散布する者）

住 所

氏 名

印